

研究実施のお知らせ

2025 年 7 月 22 日 ver.1.1

研究課題名

糖尿病における骨格筋量と 3-メチルヒスチジンの関係

研究の対象となる方

2018 年 6 月から 2024 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院で糖尿病と診断され入院精査または治療を受けられた方のうち、過去に検体の保存に同意（内分泌代謝疾患克服の研究基盤としてバイオリソースバンクの構築「研究責任者：野津 雅和」）をいただいた方。

研究の目的・意義

糖尿病の方を対象に、筋肉が壊れるときに漏れ出てくる 3-メチルヒスチジンという物質の血液または尿中の濃度が、手足の筋肉量や、筋肉が減っていく速度と関係しているかについて検討することを目的とします。将来の日常生活を維持するため、筋肉量を維持することはとても重要です。3-メチルヒスチジンの濃度が高い方や低い方で筋肉量が少ない可能性がないか、3-メチルヒスチジンの濃度が高い方や低い方で、骨格筋量が減っていく速度が速い可能性がないかについて検討を行いたいと思います。

研究の方法

2018 年 6 月以降、島根大学医学部附属病院の内分泌代謝内科に入院された糖尿病の方のうち、「内分泌代謝疾患克服の研究基盤としてバイオリソースバンクの構築」研究にご同意いただいた方を対象とした研究です。その際に保存させていただいている血液や尿を使用させていただき、3-メチルヒスチジンの濃度を測定、その時点での四肢の骨格筋量と関係がありそうか解析を行います。保存をさせていただいた際の、体の状態や疾病に関わる情報として以下の項目についてカルテより情報を収集させていただきます。これらの指標は、日頃の診療で状態把握や治療方針決定のため通常測定させていただいているものです。

項目：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患(既往歴)、服用薬剤、生活歴(喫煙、飲酒の有無)、HbA1c、空腹時血糖、空腹時 C ペプチド、空腹時インスリン濃度、総蛋白、Alb、AST、ALT、ALP、Ca、P、Intact PTH、BUN、Cr、eGFR、シスタチン C、各コレステロール値(LDL-C、HDL-C、中性脂肪、Lp(a))、IGF-1、白血球数(好中球、リンパ球)、FT3、FT4、CRP、一般尿検査、尿アルブミン濃度、DXA 法にて測定した指標(腰椎および大腿骨骨密度、四肢骨格筋量、脂肪量)、胸腰椎側面 X 線で判定した椎体骨折の有

無、栄養指導時の情報(自宅での推定栄養摂取量)、足関節上腕血圧比(脈波伝播速度)、頸動脈エコーにおけるプラーク指数、糖尿病合併症の情報(神経障害の有無、網膜症の有無、腎症の有無)

解析を行うため、血中または尿中3-メチルヒスチジンの濃度と、その時点での筋肉量の関係を解析させていただきます。また、血中または尿中3-メチルヒスチジンが高めか低めかで2つのグループに分けさせていただき、血中または尿中3-メチルヒスチジンが高いか低いかで、骨格筋量が低下する速度が速いか否かについて検討を行います。

収集した試料・情報は、氏名、患者IDを削除したうえで取り扱います。

個人情報(島根大学医学部内科学講座内科学第一の部屋)に鍵をつけて保存します。

本研究により使用する情報は他施設への提供する予定はなく、また、別の研究で二次利用する予定もありません。

研究の期間

2025年8月25日～2027年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

試料(検体)・情報の利用停止

ご自身の試料(検体)・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年9月末までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料(検体)・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

い。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650